

# コース付近のみどころ!!

## 1 宝地院 ほうちいん

清盛の妻である時子といっしょに亡くなった安徳天皇を供養するため、建てられたといわれています。



## 2 東福寺 とうふくじ

元の名前は上伽寺といい、清盛が贈った七堂伽藍をかまえていましたが、源平合戦のときに焼けてしまったと伝えられています。



## 3 湊川上温泉 みなとがわかみおんせん

清盛の家があったといわれている雪見御所の近くには温泉があったそうです。それがこの辺りにわいていた温泉とする説があります。



## 福原遷都

1180年6月に福原（現在の平野あたり）の地に、安徳天皇・高倉上皇などたくさんの方が訪れ、都づくりが計画されます。

しかし、都をうつすことへの反対や平家への反乱が大きくなったため、清盛たちは約170日で福原京から平安京に戻るようになります。

清盛は孫の安徳天皇にふさわしい新しい都を、国際貿易港である大輪田泊がある地につくろうとしたという意見が有力になっています。



## 清盛の家はどこにあった?

昔のいろいろな本を調べると、清盛の家は荒田の北部にある“平野”とよばれる地域にあったと考えられています。その近くにある祇園遺跡は当時の都の中心にあたり、当時のたくさんのお血や中国製の焼き物などが見つかり、清盛の家の一部かもしれません。



現在の祇園遺跡  
（塞神の松広場に祇園遺跡の説明板が建てられています）

## 4 夢野八幡神社 ゆめのはちまんじんじや

清盛は福原全域を見わたすことのできるこの場所のできる“のろし”をあげて、新しい都の位置をはかったといわれています。



## 5 善光寺 ぜんこうじ

源平合戦のときに源氏方と戦った平業盛の塚があります。業盛はわずか17才ながら武勇にすぐれ、戦いでかつやくしたといわれています。



## 清盛にはこんな一面も!!

「冬の寒い朝、家来がねぼうしていたら、ゆっくり寝かせてあげたそうです。また、つまらないことをしてもにっこりと笑ってあげ、ひどい失敗をしても大きな声でとどめることはありませんでした。」  
このように、本当はやさしい一面もあったといわれています。

※「十訓抄」より

発行 兵庫区民まちづくり会議  
（事務局：兵庫区まちづくり課内）

〒652-8570 神戸市兵庫区荒田町1丁目21番1号  
TEL (078) 531-0033 FAX (078) 511-5331



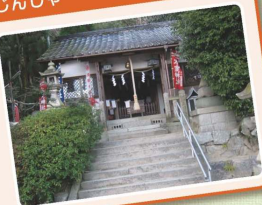
# ふく はら きょう 福原京



ひよどり展望公園

## D 氷室神社 ひむろじんじや

清盛が勧請した七弁天のひとつです。近くには平教盛の家があり、そこに後白河法皇が閉じ込められたといわれています。



## E 熊野神社 くまのじんじや

後白河法皇がお参りしていた和歌山県の熊野権現を、都を守るために勧請したと伝えられています。



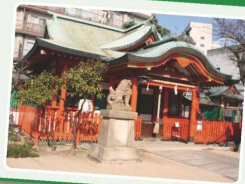
## F 願成寺 がんじょうじ

平通盛と妻の小宰相局を供養する五輪の石塔があります。また、小宰相局の念持仏や絵巻物が残されています。  
※念持仏…日ごろ身につけたり、身近に置いたりする仏像



## G 厳島神社 いづくしまじんじや

大輪田治の工事がぶしに終わることや兵庫が栄えることを祈って、広島県の厳島神社を勧請したといわれています。



## C 雪見御所旧跡 ゆきみのごしよきゅうせき

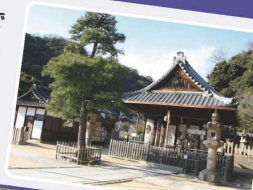
このあたりには、清盛の別荘があったといわれています。湊山小学校の校庭から当時使われた土器などが見つかりました。いっしょに出てきた石を使って碑が建てられました。



## B 東福寺 とうふくじ

## B 祇園神社 ぎおんじんじや

清盛は、祇園神社の裏山で波の音を聞きながら福原京の計画を考えたと伝えられています。



## A 荒田八幡神社 あらたはちまんじんじや

この近くには、平頼盛の山荘がありました。福原遷都のときには安徳天皇の仮の家となったと伝えられています。



## 兵庫区にある清盛の史跡をめぐってみよう!!

清盛が、わずか半年ではありましたが平安京からこの地に都をうつしたのが福原京です。この福原京は兵庫区の平野地域を中心とするあたりといわれています。

